

右手には、何を
持っていたのかな？
想像して、
かいてごらん。

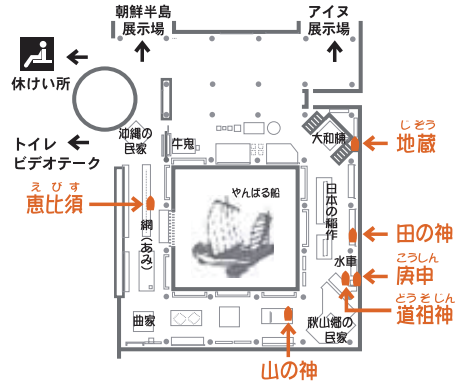


えびすさん、
豊漁も、たのんまっせ。

えびす
恵比須さまは、福の神。
七福神にも入っている商売繁盛の神さま。
漁師さんたちにとっては豊漁の神さま。この像はもともと、
魚を釣る道具を持ってたはずだよ。

ウラ面へつく

昔の人もいろいろな願いごとをしてきました。
願いごとをかなえてくれる理想の姿を石にきざんで、
それにむかって手をあわせてきました。
そんな石像をさがしてみよう！



「まさがり」が見えるっ
わたくしよくみて！

ゆた しんびでき
豊かで神秘的な
日本の山。
その自然の主を
おこらせたら、
山から与えられる
恵みがとだえてし
まう。山に住む人
たちからあがめられ、おそれられてきた 山の神。
ここにある像は木こりたちに信仰されてたようだね。
木を切るためのまさがりかかっているよ。

山仕事の道具は、まさがりの他にもいっぱいあるよ。

近くをさがしてみよう。

のこぎり、

今年も、
こぼれぬおまじないを。
おまじない

願いごととは、だれに？

みんなは、だれに願いごとをするのかな？
神さま？ 仏さま？ それとも…？

まかせとけ。

OK!

よし、
かなえてしんせよう。

はい、
はい。

願いごとを
きいてくれそうな
きみだけの神さまを
想像してかいてみよう。

おじいちゃんの
病気が
なおりますように。

こいびと
ステキな恋人に
めぐりあえますように。

きみの願いごとは
なあに？

名前：

日本各地の村や町を歩いていると、道ばたでいろいろな石像に出会います。人は昔からくらしの中で身近な願いごとをこれら石像に手をあわせてお祈りしてきました。石像は村や町の人たちの手でまつられ、生活と深く結びつきながら大切に守られています。神道や仏教などの宗教よりずっと身近な、信仰のひとつのかたちです。



庚申 とは「かのえ・さる」ともいって、60日に1度まわってくる日のこと。この日におまつりするのが庚申さま。庚申の夜に眠ってしまったら、体の中にある虫がぬげだして、天の神さまに今までやった悪いことを報告して、寿命がちぢまっちゃう。だからみんなが集まってワイワイお話をし、寝ずにごすんだ。この像の庚申さまは手に持っている刀となわで魔物をやっつけてくれる正義の味方。もち上げているのはお日さまとお月さま。下の台にいるのは「みざる・きかざる・いわざる」のお猿さんたちだよ。

おたつならんで、水車のそばにあるよ。

つげ口はやめてっ！

おもしろい言い伝えだよ。
イキ〜ジイマ!?
ナク

オモテ面からつつく



何が彫られているかな？
スケッチしてみよう。

道祖神 は、村の境にいて外から悪い霊が入ってくるのを防いだり、旅行の安全を守ったりしてくれる神さま。性にまつわる願いごとをかなえてくれる神さまとも考えられている。中部地方にはたくさんあるよ。

悪い霊を
村に
入れないでね。

手に何を
持っているの？
○に文字を
いれようらん。

お○んと

や○じ



わらわ、稲作（いなさく）のコーナーじゃ。

豊作、よろしゅう
たのんもんで。
(。可味味) (おま)

田の神 は、田を守り、豊作をもたらしてくれる稲の神さま。手に持っているものは、ごはんを食べるためのもの。稲作にあわせて春に来て、秋に帰っていくんだ。この像のふるさとの鹿兒島県では、「たのかんさぁ(=田の神様)」と呼ばれている。よく見てごらん。新米の粉でお化粧されたあとがあるよ。



ビデオテープの『1344 薩摩の田の神』(9分)も見とね。

わたしのヘアスタイル(?)を
がいてね。



がいだんを上がったところの、すみっこといるのよ。戻つけられるかな？

お地藏さま、わたしがちをおまもりなっか。

お地藏さま は、なんでも願いをきいてくれるんだ。生きているときだけじゃなくて、あの世でも苦しんでいる人を助けてくれるんだよ。子どもが大すきで、子どもを守ってくれるので、よく赤いよだれかけがかけられている。8月にやってる地藏盆っていうお祭り、みんな、知ってる？

さいごに...

👉👉 気をつけてみてごらん。

きみの家の近くや通学路の途中にも、きっと石像があるよ。スケッチしたり、いわれを調べたりして、「石像マップ」をつくって見たら、もっとおもしろいかもしれないね。

きみたちの町へ
つつく...